



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年8月14日

上場会社名 株式会社コパ・コーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 7689 URL <https://www.copa.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉村 泰助
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)馬場 洋和 (TEL)03(5724)4302
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,913	—	296	—	289	—	200	—
2020年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	82.51	77.82
2020年3月期第1四半期	—	—

(注) 1. 当社は、2020年3月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2020年3月期第1四半期の数値及び2021年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 2021年3月期第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社は2020年6月24日に東京証券取引所マザーズに上場したため、新規上場日から当四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,215	2,237	69.6
2020年3月期	2,321	1,448	62.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 2,237百万円 2020年3月期 1,448百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,623	—	556	—	551	—	370	—	141.90
通期	6,419	14.5	898	4.2	893	3.5	597	6.5	220.50

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
 2. 当社は、2020年3月期第2四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、2021年3月期第2四半期（累計）の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 3. 2021年3月期（予想）及び2021年3月期第2四半期累計期間（予想）の1株当たり当期（四半期）純利益は公募株式数（320,000株）及びオーバーアロットメントによる第三者割当増資分（93,000株）を含めた期中平均発行済株式数により算出しております。

※ 注記事項

- （1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
 （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	2,720,000株	2020年3月期	2,400,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	一株	2020年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	2,428,131株	2020年3月期1Q	2,400,000株

- （注）当社は、2020年1月31日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料（P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」）をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大し、世界経済において景気失速傾向が強まり、国内においては緊急事態宣言が発令され、様々な施設の休業や外出の自粛などにより、国民生活に甚大な影響を与えました。緊急事態宣言解除後も、経済活動の回復に向けた動きはあるものの、依然として先行きが不透明な状況が続いています。

当社が属する日用品の卸売市場におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大の状況やその防止のための外出自粛要請等により、受注の減少や販売機会の喪失等の影響を受け、緊急事態宣言解除後も未だ消費者の購買意欲の上昇が見られないなど厳しい経営環境が続いております。

このような環境下、当社では企業理念である「実演販売の精神を尊び、時代と共にその形を変え、真にその商いを継承して発展させる」ことを実践すべく、オンライン実演販売を開始するなど、事業活動に取り組んでまいりました。商品におきましては、ビューティ&ヘルス系商品の濡らして振ると冷たくなるタオル「夢ゲンクールタオル」、インテリア系商品の体圧分散効果がある「Gゼロクッション」、クリーン系商品のエアコン掃除用品「エアコンクリーナーAg消臭プラス」、ビューティ&ヘルス系商品の衝撃を吸収し体の重心バランスが取りやすいインソール「Gゼロインソール」、ビューティ&ヘルス系商品のゴムを使用したピーリングタオル「ゴムポンつるつる」等が売上を牽引したことにより、新型コロナウイルスの感染拡大の影響による一部販売チャネルの売上減を十分に吸収いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における業績は売上高1,913,130千円、営業利益296,225千円、経常利益289,914千円、四半期純利益200,313千円となりました。

当社の事業セグメントは単一の事業セグメントであります。販売チャネルを区分した売上高の概況は次のとおりであります。

a. TV通販

当販売チャネルには、TV通販番組にて販売するため、TV通販番組運営会社に対する商品の売上が含まれます。当第1四半期累計期間の売上高は、ビューティ&ヘルス系商品の濡らして振ると冷たくなるタオル「夢ゲンクールタオル」、インテリア系商品の体圧分散効果がある「Gゼロクッション」、クリーン系商品のエアコン掃除用品「エアコンクリーナーAg消臭プラス」等が好調に推移したことや、巣籠り消費に関連していると推測される消費者の購買行動の影響等により、1,078,336千円となりました。

b. ベンダー販売

当販売チャネルには、量販店において店頭で販売するため、量販店に対する商品の売上が含まれます。当第1四半期累計期間の売上高は、ビューティ&ヘルス系商品の濡らして振ると冷たくなるタオル「夢ゲンクールタオル」、ビューティ&ヘルス系商品の衝撃を吸収し体の重心バランスが取りやすいインソール「Gゼロインソール」、ビューティ&ヘルス系商品のゴムを使用したピーリングタオル「ゴムポンつるつる」等が好調に推移いたしましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により取引先店舗の休業や営業時間短縮が実施された影響を受け、291,323千円となりました。

c. インターネット通販

当販売チャネルには、インターネット上のショッピングモールでの商品の売上が含まれます。当第1四半期累計期間の売上高は、ビューティ&ヘルス系商品のゴムを使用したピーリングタオル「ゴムポンつるつる」、インテリア系商品の体圧分散効果がある「Gゼロクッション」、ビューティ&ヘルス系商品の衝撃を吸収し体の重心バランスが取りやすいインソール「Gゼロインソール」等がメディアで紹介された影響が当販売チャネルに顕著に表れ、売上が好調に推移したことに加え、巣籠り消費に関連していると推測される消費者の購買行動の影響や、倉庫の拡充等により商品供給力を強化し機会損失を回避した結果として、513,409千円となりました。

d. セールスプロモーション

当販売チャネルには、企業等からのプロモーション活動や社内教育の依頼に基づいた実演販売士の派遣による売上が含まれます。当第1四半期累計期間の売上高は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を大きく受け、イベント案件の減少が顕著に表れた結果、13,181千円となりました。

e. デモカウ

当販売チャネルには、当社が消費者へ直接商品を販売するための当社直営店舗「デモカウ」及びECサイト「デモカウ」の売上が含まれます。実店舗においてはキッチン系商品のコーティング包丁「スーパーストーンバリア包丁」やビューティ&ヘルス系商品の衝撃を吸収し体の重心バランスが取りやすいインソール「Gゼロインソール」の売上が好調に推移しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により営業時間短縮や臨時休業等の対応を余儀なくされました。ECサイトにおいてはビューティ&ヘルス系商品の衝撃を吸収し体の重心バランスが取りやすいインソール「Gゼロインソール」やビューティ&ヘルス系商品のゴムを使用したピーリングタオル「ゴムポンつるつる」の売上が好調に推移いたしました。その結果、当第1四半期累計期間の売上高は、16,829千円となりました。

f. その他

当販売チャネルには、社内販売制度に基づいた売上が含まれます。当第1四半期累計期間の売上高は、49千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて893,771千円増加し、3,215,032千円となりました。流動資産は、前事業年度末に比べて897,023千円増加し、3,101,675千円となりました。主な要因は、売上高が増加したことにより売掛金が323,329千円、たな卸資産が297,060千円、現金及び預金が133,607千円増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べて3,252千円減少し、113,357千円となりました。主な要因は、ソフトウェアが増加した一方で、ソフトウェア仮勘定が減少したことにより無形固定資産が2,162千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債総額は、前事業年度末に比べて104,658千円増加し、977,431千円となりました。流動負債は、前事業年度に比べて88,927千円増加し、953,271千円となりました。主な要因は、買掛金が260,137千円、未払金が35,536千円増加した一方で、未払法人税等が141,734千円、短期借入金が73,512千円減少したことによるものであります。固定負債は、前事業年度に比べて15,730千円増加し、24,159千円となりました。主な要因は、退職給付引当金が15,935千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べて789,113千円増加し、2,237,601千円となりました。主な要因は、公募による新株式発行による増資により資本金及び資本準備金がそれぞれ294,400千円、四半期純利益の計上により利益剰余金が200,313千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年7月22日に「第2四半期業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、2021年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、売上高は新型コロナウイルスの感染拡大によるイベントの中止や店舗の休業等による影響が当初の予想よりも小幅であり、さらに巣籠り消費に関連していると推測されるTV通販とインターネット通販においても好調に推移していることから、前回予想値を上回ることを見込んでおります。また、利益面では、人件費の増加や売上高増加に伴う販売手数料の増加により販売費及び一般管理費が前回予想値を上回ることを見込んでおりますが、売上総利益の増加がさらに上回るが見込まれることから、営業利益、経常利益及び四半期(当期)純利益につきましても前回予想値を上回る見込みであります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	944,190	1,077,797
電子記録債権	36,873	181,422
売掛金	522,331	845,661
たな卸資産	690,717	987,777
前払費用	4,924	9,118
未収入金	3,566	52
その他	2,305	—
貸倒引当金	△256	△154
流動資産合計	2,204,651	3,101,675
固定資産		
有形固定資産	31,931	30,989
無形固定資産	35,497	33,334
投資その他の資産	49,180	49,032
固定資産合計	116,609	113,357
資産合計	2,321,261	3,215,032
負債の部		
流動負債		
買掛金	338,499	598,637
短期借入金	119,696	46,184
リース債務	823	823
未払金	56,803	92,339
未払費用	27,798	53,480
未払法人税等	236,461	94,726
未払消費税等	19,132	9,352
預り金	7,862	4,063
賞与引当金	32,266	50,289
役員賞与引当金	25,000	—
ポイント引当金	—	3,374
流動負債合計	864,343	953,271
固定負債		
リース債務	823	617
退職給付引当金	—	15,935
資産除去債務	7,605	7,606
固定負債合計	8,429	24,159
負債合計	872,772	977,431
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,000	306,400
資本準備金	—	294,400
資本剰余金合計	—	294,400
利益剰余金	1,436,488	1,636,801
株主資本合計	1,448,488	2,237,601
純資産合計	1,448,488	2,237,601
負債純資産合計	2,321,261	3,215,032

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	1,913,130
売上原価	1,256,027
売上総利益	657,103
販売費及び一般管理費	360,878
営業利益	296,225
営業外収益	
受取利息及び配当金	0
決済手数料補助金	5,055
その他	21
営業外収益合計	5,076
営業外費用	
支払利息	137
売掛債権譲渡損	508
株式交付費	10,729
その他	11
営業外費用合計	11,387
経常利益	289,914
特別損失	
固定資産除却損	28
特別損失合計	28
税引前四半期純利益	289,886
法人税等	89,572
四半期純利益	200,313

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年6月24日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。上場にあたり、2020年6月23日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式320,000株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ294,400千円増加しております。

この結果、当第1四半期会計期間末において資本金が306,400千円、資本準備金が294,400千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、実演販売関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

第三者割当による新株発行

野村証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関する第三者割当による新株式の発行については、2020年7月21日に払込が完了しており、発行済株式総数、資本金及び資本準備金の額が増加しております。

(1) 募集株式の種類及び数	普通株式 93,000株
(2) 割当価格	1株につき1,840円
(3) 払込期日	2020年7月21日
(4) 割当価格の総額	171,120千円
(5) 増加した資本金及び資本準備金の額	増加した資本金の額 85,560千円 増加した資本準備金の額 85,560千円
(6) 資金の使途	①商品の保有在庫を増加させるための仕入資金 ②自社ECサイト「デモカウ」の集客強化を図るための広告宣伝費 ③人材確保のための採用活動費及び人件費 ④借入金の返済資金